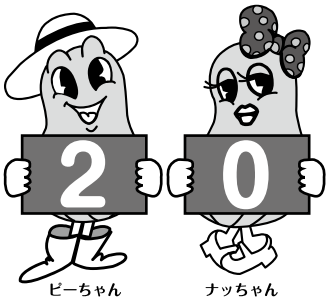
やちまた市議会だより

平成25年（2013年）
第191号〔2月10日発行〕

（116名）

八街っ子夢議会

1月25日㈮に市議会議場において八街っ子夢議会が開催されました。市内の小・中・高校生や高校生たちが、身近な問題を市執行部に問いかけました。



市制施行 20 周年

12月定例会

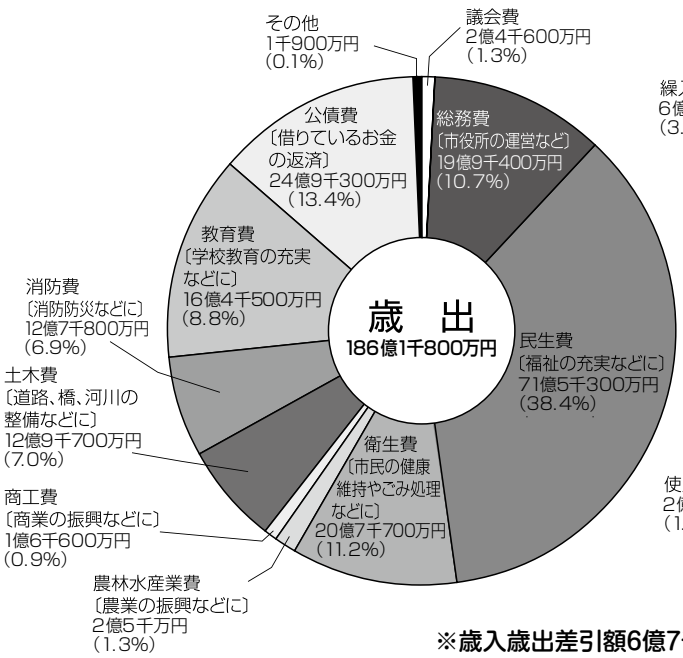
主な内容

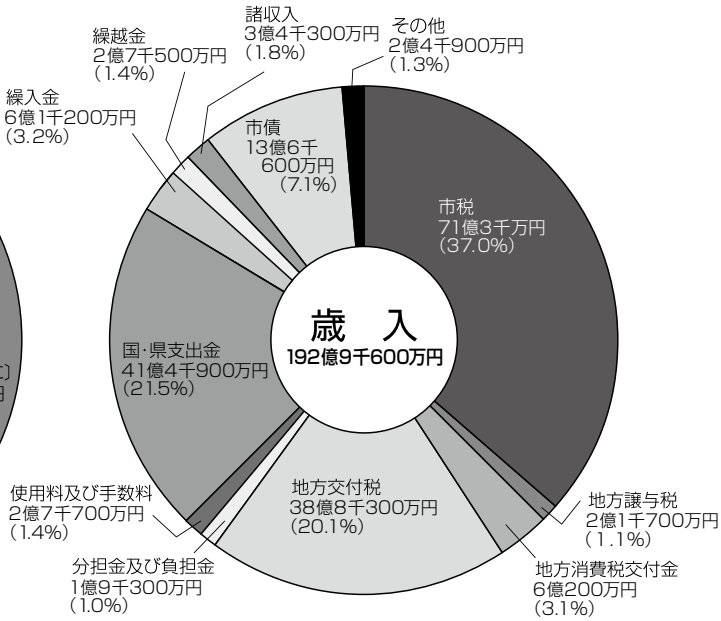
○ 平成23年度決算・提出議案の主な内容 ―― 2～3P
○ 各常任委員会の内容 ―― 4～5P
○ 一般質問（個人17人）―― 6～14P
○ 議長・副議長の出席報告等 ―― 15P
○ 審議された議案と結果 ―― 16P

発行・八街市議会　編集・議会だより編集委員会 〒289-1192 千葉県八街市八街ほ35-29 TEL043（443）1482
〔八街市ホームページに会議録・一般質問項目・会議結果等について掲載してあります。 http://www.city.yachimata.lg.jp〕

平成 23 年度各会計決算が認定されました

平成23年度一般会計予算





※歳入歳出差引額6億7千800万円は、翌年度への繰越しや、基金に積み立てました。

平成 23 年度一般会計決算、討論！ （一部要約）

反対討論

総合計画第２次基本計画の中心事業である大池第三雨水幹線事業の設計が４千140万円で委託されました。26億４千600万円も投入するこの事業は、凍結し、市民が切実に求めている国保税の引き下げや介護保険の充実、安全な道路整備など市民の暮らしを守る施策を優先させるべきです。基幹産業である農業の活性化への取り組みこそ重要であり、北総中央用水事業を幾ら進めても農業の活性化につながりません。ニンジンのブランド化とともに直接支援で持続できる農業施策を重視し、地域経済活性化に努めるべきです。民生費では、保育ママ制度の導入や公共施設を活用した保育園の分院制度の導入で待機児童ゼロを目指す取り組みを求めます。生活保護費受給にあたり、人権が損なわれないようにすべきであります。教育費では、就学援助制度は国の制度に準じているとしているが、クラブ活動費・生徒会費・ＰＴＡ会費など、国は支給項目を増やしており、市も新たな支給項目を増やすとともに、市民生活の実態を見て予算確保をすべきです。小学校の耐震化は切実な問題であり、学校は避難場所という役割も担っているので、早急な対策が求められます。中央公民館・図書館の清掃業務委託は、合同入札をして、前年度より高く落札しています。何のための合同入札だったのか、無駄を省くどころか税金の持ち出しであります。

格差社会が進む中で、市民の生活実態を直視し、市民が安心して暮らせる自治体本来の役割を求めて、反対するものです。

賛成討論

厳しい経済社会、財政状況下にありながら、まず歳入においては、192億９千600万円で昨年比マイナス0.26％におさめ、通年型となっています。その中で自主財源率が平成22年度の44.8％から45.8％となり、市税徴収対策本部や市全体に関わる面で見直し等、努力の跡が伺われ、高く評価するものです。一方、歳出面では、民生、福祉、衛生、農政、商工、土木、消防、教育と幅広く有効にその財源を活用しています。市民の安心・安全のための防犯灯の設置やカーブミラー等の設置、さらには道路排水工事や道路の改修等整備に取り組みました。また、活力ある街づくりのために地産地消を主とした産業まつりの実施やアンテナショップをはじめとする就労支援、消費生活向上のための消費生活諸活動に努力されました。市民の健康を守るために、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン等の予防接種や小学校４年生から中学校３年生までの児童医療費助成等々を実施し、市民の健康増進に深くつながっています。教育面では、朝陽小学校改築工事のための屋内運動場の耐力度調査、育て八街っ子事業の推進、社会教育や文化、体育、図書等の振興のための諸事業に積極的に取り組みました。市執行部一丸となって全般にわたる適正な事業への見直しを行い、バランスのとれた中での決算であり、今優先してやるべきことへの適正なあり方にもさらなる努力に期待し、賛成するものです。

財政指標

区　分	平成23年度	平成22年度	平成21年度
財政力指数	0.653	0.676	0.700
実質収支比率	4.9%	4.3%	3.5%
経常収支比率	94.5%	92.6%	94.7%
公債費比率	17.7%	18.0%	17.0%

■財政力指数

３年間の平均値で表す。１に近いほど財政力が強い。１を超えるほど余裕財源を持っていることになる。

■実質収支比率

実質収支額の水準を判断するもの。３～５％が望ましいとされる。

■経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標として用いられ、この比率が高いほど経常一般財源に余裕がなくなると考えられ、通常は、70％～75％が標準とされている。

■公債費比率

地方債の元利償還に充てられる経費の一般財源に占める割合を表したもの。財政構造の健全性を維持するには、10％を超えないことが望ましいとされている。

平成23年度一般会計・特別会計決算

区　分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	192億9千600万円	186億1千800万円
国民健康保険	88億5千万円	87億6千万円
後期高齢者医療	3億4千800万円	3億4千600万円
介護保険	33億2千900万円	32億6千200万円
学校給食センター事業	6億9千200万円	6億9千100万円
下水道事業	9億3千200万円	9億2千400万円
合計	334億4千700万円	326億100万円

平成23年度水道事業会計決算

区　分	決算額
水道事業収益	10億9千300万円
水道事業費用	10億4千600万円
資本的収入	7億8千200万円
資本的支出	9億8千500万円

12月定例会

提出議案の主な内容

平成２４年１２月定例会は、１１月３０日に開会され、議案２０件、請願２件、議員提出議案３件が提出され審議されました。

《紙面の都合上、議案の内容の一部を掲載します》

◆八街市道新認定

○開発行為により帰属された団地内の道路について市道路線として、５路線６７６．５ｍ認定しました。（市道総延長４９４．８㎞）

◆一般会計補正予算

依然として厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、子ども医療費に要する経費や生活道路の改良に要する経費を増額するなど市民生活に密接する喫緊の行政需要に対応しました。

（３億７千15万円の増額）

○本年12月診療分から病院等の窓口での支払いが一定の自己負担をしている「現物給付」方式の対象年齢を中学３年生まで引き上げて、子育て世代への経済的支援の充実。（２千７８３万３千円・既定予算と合わせて１億７千９３１万９千円）

○街頭犯罪の未然防止対策の充実・強化を図り、安全で安心な街づくりを推進するため、公共の場所等に防犯カメラを設置。（２千１００万円）

○住宅リフォームに対する補助の充実。（１００万円・既定予算と合わせて４００万円）

○安全・快適に利用できる道路環境を整えるため、主要な市道の改良。（３千万円・既定予算と合わせて３億６８２万１千円）

○国産農産物の安定供給のため、生産から物流までの強い農業づくりに必要な共同利用施設の整備に対し助成。（新規事業２億５千万円）

◆市の花を制定

○市制施行20周年記念事業として「ヒマワリ」を市の花に指定。

※公募の結果

応募総数　１千５４８件

一位　ヒマワリ　３１５票

二位　落花生の花　１６６票

（その他、タンポポ・サクラ・アサガオ等）

◆通勤用自家用車の駐車使用料を徴収

○市の管理する各施設（公民館、スポーツプラザなど）において、職員が通勤用自家用自動車をその敷地内に駐車する場合に月額３千円の使用料を徴収します。

◆防犯カメラの設置及び運用

○「八街ほ」地区が県のひったくり対策重点区域に指定を受けており、犯罪に対する抑止力の向上を図るため、八街駅周辺の道路等への防犯カメラの設置に向け、準備を進めています。

▶設置予定の防犯カメラ

八街バイパスの早期完成と住野十字路交差点の整備に関する意見書を県に提出

八街バイパス整備事業につきましては、八街市を南北に縦貫する国道409号と東西に交差する主要地方道千葉八街横芝線とを結ぶ幹線道路であり、交通量を分散させることで八街中心市街地で発生している慢性的な交通渋滞の解消を図ることを目的として、千葉県が事業主体となり整備促進が図られ、一部区間が供用開始されたところですが、いまだ未開通の区間が多く、市内の交通渋滞は解消されておりません。

住民などから早期完成に対する要望が多数寄せられており、市街地形成にも影響する重要な課題であり着工可能な区間を優先的に整備し、円滑な道路交通ネットワークを形成し、早期に完成することが望まれます。

また、住野交差点につきましては、国道51号にアクセスする主要地方道富里酒々井線と内陸部各拠点地域を縦断する国道409号が交差する重要な交差点であり、来年（平成25年4月）の酒々井インターチェンジの開通に伴い、さらなる交通渋滞が必至であります。

今後、特段のご配慮を賜り、八街バイパスの早期完成と住野十字路交差点の整備促進が図られますよう、ここに要望いたします。

消費税の増税中止を政府に求める請願（一部抜粋）

消費税を10%にすれば、家計や個人消費が冷え込み、いっそう景気が悪化することは明らかです。社会保障改悪では、年金支給額の切り下げや支給開始年齢の引上げ、定率の医療費窓口負担に加えた新たな定額の負担増が計画されており、国民のいのちと健康を根底から脅かします。

社会保障の財源は「聖域」をもうけず、歳出のムダを削減すること。

負担能力に応じた税・社会保険料で賄うという応能負担の原則を貫いて確保すべきです。

以上の趣旨に基づき、以下の項目について強く要望いたします。

1、消費税の大増税計画を中止すること。

（賛成少数により不採択となりました）

学校図書館の充実を求める請願（一部抜粋）

1. 学校図書館費（図書整備費）を大幅に増額すること。
2. 全ての市立小中学校で、学校図書館図書標準を満たすよう早急に財政措置を講ずること。
   また古くなった本は速やかに修繕・入れ替えをすること。
3. 全ての市立小中学校に、専任・正規の専門職である学校司書を配置すること。

（賛成少数により不採択となりました）

委員会での審査

12月13日から17日に各委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。
（紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。）

総務

◆市税条例の一部を改正（公害防止用の下水道除害施設に係る償却資産課税の軽減）

問　本市に対象となる下水道除害施設はないのに、税金を安くして建設を促進する性格のものでもない。どの様に考えているのか。

答　現在、当市にはこの除害施設を設置している工場等はありませんが、今後下水道区域内に対象となる工場が進出する可能性もありますので、条例を改正するものです。

◆行政財産使用料徴収条例の一部を改正（各施設において、職員が通勤用自家用自動車をその敷地内に駐車する場合に使用料を徴収）

問　新たに駐車場を設置した訳ではないので、わざわざ有料化にしなければならない理由はないと思うがどのように考えているのか。

答　あくまでも『行政財産の適正な管理を図る。』ということです。

問　当市の出先機関は交通事情が悪く、職員が私用の車を利用して事務連絡等を行っているので、これからはそれぞれの出先機関に公用車を配置することは検討しているのか。

答　私用車を使用する場合は、従前より旅費として支出しています。

◆防犯カメラの設置

問　カメラを新たに設置しようとしている5箇所は、どの様な経緯で決定したのか。

答　ひったくりの多い場所を中心に考えて、八街の幹部交番と協議をしました。駅前広場、国道県道が交差するところになります。

問　必要最小限の撮影範囲とは、どの程度映し出されるのか。

答　今回計画しているカメラは、静止していれば個人が識別できるものになります。また、コマ送りの設定によって精度が上がるものになります。

◆一般会計補正予算

問　ごみ処理施設整備事業は、どの程度の規模か。

答　現在、飛灰はフレコンパックに入れて直接出していますが、今度、秋田県に出す分については、中間処理をすることで、概要については1時間当たり1立米のコンレンキ、薬剤単価が3立米、また、電気設備等の工事になります。

▲飛灰を保管しているテント（クリーンセンター）

文教福祉

◆一般会計補正予算

問 障がい者通所施設送迎事業では、通所施設は何箇所か。また、障がい者が通所して利用する施設は足りているのか。

答 14施設になり、窓口で不足に伴う苦情はありません。

問 緊急通報装置の設置数は、今年度どのぐらい増えているのか。

答 昨年度の9月末で404台、今年度の9月末では460台ですので、56台増えています。

問 生活保護のケースワーカー1人の担当状況は。

答 社会福祉法で標準数として、1人当たり80世帯となっています。

9月末現在、被保護の世帯数が680世帯、被保護人員が983人になり、現在7人のケースワーカーで対応しています。

問 保育所職員細菌検査業務は、年度により検査項目は変わるのか。

答 毎年同じで、赤痢菌、チフス菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌O-157の検査です。

◆国民健康保険特別会計補正予算

問 高額療養費の伸び率は。

答 一般被保険者高額療養費では、23年度決算と比較すると、13.5%の増。退職被保険者等高額療養費では、4.5%の増になります。

◆介護保険特別会計補正予算

問 介護認定調査員は、正職員、臨時職員何人いるのか。また、仕事内容の違いは。

答 正職員が4人、臨時職員が5人です。

仕事内容が大きく違う点は、臨時職員は、認定調査のみです。正職員はそれ以外にも、認定審査会の事務などの事務処理を行っています。

◆学校図書館の充実を求める請願

問 学校図書館図書標準について当市の現状は。

答 平成23年度末の学校図書館図書標準の達成状況は、小学校は、93.01%。中学校では、92.65%になります。

小学校で、実住小学校、笹引小学校、交進小学校、二州小学校の4校と、中学校では、八街中学校、八街南中学校の2校が達成しています。

問 図書館のボランティアの活動状況は。

答 活動内容については、小学校では保護者の方を中心に読み聞かせ、蔵書の整理、ポスター掲示などです。中学校では、小学校での活動を受けて、連携教育の関係から、今後活動を取り組むスタートが切られたという報告を受けています。

問 今年度、学校図書の充実に、いくら予算計上しているのか。

答 小学校は、491万8千円。中学校が326万2千円です。

問 司書教諭の現状を伺う。

答 各小中学校には、司書教諭が配置されています。

経済建設

◆市道の構造の技術的基準

問 国土交通省が出した、生活道路、通学路についての速度規制について、時速30kmが妥当とのことですが、そういった整合性が加味されているのか。

答 実際に道路を造る場合、設計速度が時速40kmであっても、それを30kmに規制することは、公安委員会との協議で、それが適当とのことであれば、警察の方で規制すると考えています。

問 他の県では歩行者を守るということで、路肩を1mとしているところもあるが、八街市の0.5mとした経緯は。

答 0.5mは、あくまでも最小の単位と考えており、以前から道路を整備する場合は、路肩は最低でも0.75mで施工してきました。今後も0.75mを最低幅として、設計したいと考えています。

◆都市公園条例

問 八街市の都市公園整備の今後の方針は。

答 八街市は近隣と比較し、1人当たりの都市公園の面積が非常に少ないところです。ただし、宅地造成地に設けられているその他公園が、約120カ所あります。都市公園、その他公園を含めて、適正な維持管理をし、市民に安心して使っていただきたいと考えています。

◆一般会計補正予算

問 焼却炉の維持修繕事業費1千663万2千円の修理内容は。

答 1号炉の一番下の部分の耐火物の修繕です。

問 農業振興費のJAいんばで設置されるニンジン選果機では、今度は春ニンジンも選果を行われるとの事ですが、春ニンジンを出荷している戸数は。

答 春ニンジン出荷は、市内全体で10ヘクタール、うち農協への出荷は、8ヘクタールです。春ニンジンは現在グリーンやちまたの選果機では取り扱いしていませんが、秋冬ニンジンでは446名の方々がこのグリーンやちまたを利用しています。

問 榎戸駅整備事業では、25年度に設計調査をするとのことですが、このペースで26年度に着工できるのか。

答 自由通路の位置について、現在JRと協議を進めていることから、公安委員会等との協議をする図面等作成業務を25年度に行うこととしたため、減額しました。基本設計については、平成25年の6月末を目途に作成し、その後詳細設計を行い、工事着手を予定しています。

問 焼却施設運転管理業務の業者と業務に携わる人数を伺う。

答 運転管理業務の入札に参加出来る業者は、16から17社あります。

運転管理に係る契約上の人数は、25名です。

問 焼却施設ボイラー等保守点検整備業務では、修理費が補正に計上されているが、点検は必要なのか。

答 このボイラー点検は、法により毎年実施するよう、定められているものです

市政を問う！

一般質問は、市の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、見解を求めるものです。12月定例会の一般質問は、4日（火）、5日（水）、6日（木）の３日間に17名の議員が質問しました。

（ここでは紙面の関係で、その一部を要約して掲載しています。）

個人質問

八街市の未来と観光ＰＲ

古場正春

八街市の未来

問 市民人口が減少しつつある中、具体策を伺う。

市長 本市の人口は、平成16年2月末の7万7千770人がピークで、平成24年3月末は7万5千441人であり、ピーク時の人口と比較すると2千329人、3.0％の減少でここ数年減少率が高まっています。本市の魅力について積極的に情報発信していくとともに、地域に根ざした人的資源の発掘などを通して、八街市に生活していくことに魅力を感じ、住み続けていただけるような街づくりを進めていくことが肝要と考えています。

問 住宅取得をしやすくする特別措置を行っては如何か。

市長 人口減少防止策の必要性は、認識しているものの、単に住宅取得を促進する為の課税免除は、公益上の必要性という法の趣旨に照らし、難しいものと考えています。

問 農業法人設立の助成を行い、就労機会を与えれば人口増加につながると考えるが如何か。

市長 これまでにも千葉県農業会議の協力により、法人設立に向けた各種手続等の支援をしてきました。就労機会が増えることは認識していますので、農業法人設立に向けた支援は引き続き行います。

問 特急の止まる駅にしては、商業施設が壊滅的である。まずは有名飲食店の誘致を行っては。

市長 雇用対策及び空き店舗対策として、八街市推奨の店「ぼっち」と「ブランみなみ」及び「ギャラリー悠友」を開設し、駅前の賑わいを創出してきているところです。誘致に関して、現在駅前周辺には広域的に展開している有名店が複数出店しており、個人経営のお店も、徐々に開店していることから、引き続き現在行っている支援を継続し、中心市街地の活性化に向けてサポートしていきます。

観光ＰＲ

問 八街市のご当地キャラクター「ピーちゃん・ナッちゃん」をイメージチェンジしてはどうか。

市長 商標登録をした、「ピーちゃん・ナッちゃん」をイメージチェンジする予定はありませんが、他の地域では、商業団体や観光団体などが「ゆるキャラ」を創作していることが多いことを考えますと市内団体が新たなキャラクターを創作することは、好ましいことと思われますし、最近では八街駅南口商店街振興組合において、「ぼっちくん」が創作されていますので、新たなキャラクターが創作された際には、本市のイメージキャラクター「ピーちゃん・ナッちゃん」と併せて支援したいと考えています。

個人質問

災害ボランティア体験学習の継続を！

桜田秀雄

災害支援について

問 私が災害ボランティア活動をライフワークにし、国内外を走り回るようになったのは阪神大震災の悲惨な現場に足を踏み入れたのがきっかけでした。市内の高校生が修学旅行で被災地を訪問したという心温まる新聞報道がありました。また、八街中学校生徒のボランティア体験学習も実現、残る3中学校の生徒の皆さんにも体験させてやりたいと願っております。1人でも多くの子どもたちにボランティア体験を通じて、思いやりと命の大切さを学ばせることは真に生きた教育であり、私たち大人はその水先案内人になるべきです。

ボランティア体験学習を継続させるため、来年度必要な予算を計上できないか。

また、こうした支援活動や人事交流を推し進め、塩釜市と災害友好都市の締結を提案するが如何か。

市長 塩釜市との応援協定を検討してまいります。

教育長 補助金の活用を前提に検討します。

市政改革について

問 定例表彰式については、市民表彰と職員表彰は分離し、職員表彰は内部で行なうべきと思うが如何か。

市長 他の自治体の状況等を確認するとともに、部内で十分協議し、必要に応じた改正をおこなうよう指示しました。

問 職員表彰規程を創設し、職員の勤労意欲の向上を図るべきと思うが如何か。

市長 部内で協議するよう指示しました。あわせて、職員の勤労意欲の高揚についても検討してまいります。

道路問題について

問 県道千葉八街横芝線、バイパス先の歩道整備計画について伺う。

市長 道路管理者に確認したところ、具体的な計画はないと聞いています。しかし、市として歩行者等の安全確保の必要性について十分認識しており、機会あるごとに県へ要望してまいります。

問 ローソン八街東店前T字路交差点の安全対策について伺う。

市長 一時停止、横断歩道及び信号機の設置は、5月15日、佐倉警察署を通じ千葉県公安委員会に要望書を提出しました。

問 榎戸駅改良について伺う。

市長 平成24年10月11日、JR千葉支社と「榎戸駅東西自由通路整備等に関する基本協定」を締結しました。この協定は、費要の負担や用地の処理などの基本事項を定め、円滑な事業の実施を図ることを目的としたものです。

個人質問

遊休農地・耕作放棄地問題について問う

誠和会　山口孝弘

遊休農地の新たな問題について

問 四木地先にあるこの土地は、長年遊休農地であり解消に向け堆肥を入れ、農地を復活させるという業者が入ってきています。しかし、地形が変わるほどの堆肥、畑で二次発酵させるという手法によりガスが発生し、近隣の住民から臭気による苦情が多数寄せられました。現在は、市の指導により解消の方向に向かっているが、今後、遊休農地が増えることにより、遊休農地土壌改良の名のもとに、同じようなケースが発生することが懸念されます。経緯と今後の対策について伺う。

農業委員会事務局長 四木地先の遊休農地の土壌改良の経緯としては、何年も耕作放棄地であった農地を昨年の9月より土壌改良材を施し、耕作できる農地に復元しているものです。期間が2年間と長期間のため、夏場に臭気等の苦情が多く、今年の8月末に事業者と臭気対策の協議を行い、1回当たりの土壌改良材の搬入量を少なくし、すぐに土と撹拌し、臭気の発生を少なくするよう指導しました。また、10月下旬には土壌改良材の成分分析検査を実施し検査結果は、重金属や農薬等の検査項目15項目全ての項目で基準値に適合していたと聞いています。今後も、環境関連部署と連携して適切に対応します。

再質問 しかしながら、限度を超える量と質が問題です。特に質に関しては、畑で二次発酵させて、その影響でガスが出ます。本来なら事業所の敷地内で二次発酵、三次発酵をさせて、製品として持ってくることが、本来の形ではないかと思います。同じようなケースを出さないためにも、八街市の問題だけではなく、千葉県全体の問題です。どのように対応していくのか。

経済環境部長 私も現場を見に行きました。確かに悪臭がひどく、中に入っているものが堆肥には認めがたいと現地で確認しました。神奈川県の業者が堆肥になるものを一次発酵し、現場において農地に入れていると会社側も認めています。市の方では、これは堆肥ではない。正規行為としては認めがたいと申しました。現法律に基づくと、規制することは難しいですが、県ともこれは堆肥ではない。正規行為ではないという認識が一致しました。

現在入れているものが神奈川県の工場で、どのような許可を得て搬出しているのか、現地に職員が行き、聞き取りして、市は正規行為としては認めないという強い気持ちの中で、今後、指導をしていきたいと考えています。

※その他の質問
◆災害時の諸課題
◆被災地支援・理解への取り組み
◆ふれあいバス

個人質問

活力あふれ、安心安全にすごせるまちづくりをめざして

誠和会　林　修三

より充実したバイパス道路

問　バイパスの整備状況と開通されたバイパスの交通事故打開策について伺う。

市長　整備にあたっては、雨水排水施設などの整備が必要であることから、今年度調整池を含めた流末整備のための測量・地質調査・設計業務が行われていると県より聞いています。市としても早期完成に向け、引き続き県に協力したいと考えています。

交通事故打開策は、今後事故が多発するような場合、警察から道路管理者への指導助言などが考えられるため、その際には、さらに安全な道路の実現のため、対処したいとのことでした。市としても必要に応じ県と協議し、より一層の安全性の確保に努めたいと考えています。

振動のない道路整備

問　四区神社地先から五差路信号地先までの道路整備計画について伺う。

市長　今年度、国の社会資本整備総合交付金を活用し、舗装の改良工事を実施します。既に四区側の県道から420m区間と六区側の五差路信号から北側へ約290m区間について、それぞれ工事を発注済です。残りの部分は、将来バイパスとの関係があるので、今回はあまり経費をかけずに表層のアスファルトのみを打ち替えることとし、先行して実施した水道管の更新にかかる本復旧までにとどめることにしました。

なお、この路線は四区の県道から六区の国道409号までの区間において、大型車の通行が禁止されることが決定されています。

他から客を呼ぶ産業まつり

問　産業まつりの状況と開催会場地について今後の計画について伺う。

市長　午前中にかけて雨の影響により、来場者は例年に比べ若干少ない状況でしたが、新たに行った催し物の効果もあり、市外からも含め、約1万6千人と多くのお客様を迎え、賑わいのあるイベントとなりました。今後の開催計画は、現在のところ未定ですが、駐車場の確保や来場者の交通の便など考慮しながら検討します。

JR駅から何か工夫して流れをそこへ持っていく会場のあり方について伺う。

再質問

経済環境部長　市外から多くの方がみえる産業まつりを目指すということでは、当然駅からの動線を考えた会場配置も今後検討したいと考えています。

※その他の質問

◆子どもたちの教育諸振興策について

◆幼児教育の充実について

◆読書の普及について

個人質問

上砂地先産業廃棄物の撤去及び焼却灰の処理と信号機設置要望の現状について

誠和会　石井孝昭

環境問題

問　産業廃棄物不法投棄の現状は。

市長　通報は平成22年度、23年度ともに7件、24年度は11月末日現在で4件です。

問　上砂地先の産業廃棄物の処理に向けての動向は。

市長　千葉県環境財団の「負の遺産部会」で、11月8日付で交付決定の通知を受けたところです。

再質問　上砂地先産業廃棄物の処理に対しての概算金額と具体的な今後の取り組みは。

経済環境部長　約1億3千400万円の半分の6千700万円の助成です。1月中旬に地元説明会、2月入札、3月頃から現場に入り、来年の梅雨には作業の終了予定で準備しています。

問　クリーンセンター内の焼却灰の保管状況と処理は。

市長　限界保管量の約9割に達する状況です。現在、焼却飛灰に含まれる重金属類を安定化させる装置の設置に向けて作業を進めており、完成すると飛灰の受入先の範囲が広がる見込みで、受入先さえ確保できれば、テント内で保管している飛灰の量を減らしていけると考えています。

農業問題

問　農業生産物の野生生物による被害状況と病害虫対策は。

市長　平成24年度は、これまでにカラス68羽、ハクビシン8頭、タヌキ4頭を捕獲しています。また、県内でスイカ果実汚斑細菌病の疑似症状が確認されたことから、防除方法等を農家組合連合会を通じ、周知しました。トマトは、黄化葉巻病の発生が予測されることから、広報に掲載し、情報提供を行いました。

道路・交差点問題

問　信号機設置要望の対策は。

市長　新設29カ所を含む要望書を佐倉警察署へ提出しています。

問　四木116号線、御成街道滝台交差点十字路、上砂217号線、御成街道上砂交差点十字路の交通事故の現状と対策は。

市長　平成22年から本年10月末現在の約3年間で、市道116号線滝台地先が3件、市道217号線上砂地先が5件、いずれも車両相互による人身事故が発生しています。

市でも危険箇所と認識し、以前から自動点滅式の道路鋲や、警戒標識のほかに、カーブミラーや道路標示などの対策を講じています。

※その他の質問

◆新規就農者を取り入れた耕作放棄地解消策

◆災害時の農畜産物相互支援制度

個人質問

安心で安全な街 住んでいて良かったと思える街づくり

誠和会　木村利晴

道路の安全通行について

問　県道22号線、千葉八街横芝線、坂江公民館付近で、八街方面に向かう通学途中の中学生が後ろから来た軽乗用車に追突され転倒する事故がありました。この場所は道路脇の生垣の枝が伸び、道路側にかなりせり出しています。道路脇の生垣が伸び、危険な箇所への行政指導について伺う。

市長　市道の安全通行を確保するため、市道沿道の生垣や山林などからの枝等の張り出しの改善について、広報やちまたで広く市民に周知するほか、今年度は春と秋の2回の区長回覧及びホームページで周知し、市民に注意を促し、市民からの通報や職員が発見した場合は、地権者の調査を行い、早期伐採をお願いするとともに、実行日などを確認し、確実に実行していただける工夫をしています。

問　歩道や側溝部蓋に土砂が堆積し、雑草が生い茂り、歩道をより狭くし、通行不能となっている場所の点検、整備について伺う。

市長　側溝を含めた路肩部分や整備された歩道において、歩行者の通行に支障が生じるケースは、その都度、土砂の撤去作業を行い、機能管理に努めています。

活力ある街づくりについて

問　既存施設の利用状況及び案内について伺う。

市長　市の施設の利用状況は、いずれも統計をとっており、数値で把握しています。利用案内は、今年度4月市制施行20周年を機に、「くらしの便利帳」を発行し、全戸に配布し、ホームページでお知らせしています。

問　人参料理コンテストについて伺う。

市長　ニンジン料理コンテストは、本市で生産される各ニンジンは野菜指定産地に指定され、出荷量も平成22年には、県内第一位となっていることに加え、現在スイカの栽培にかわって、春ニンジンの栽培が増加しつつあることから、本市で栽培されたニンジンの消費拡大、並びにブランド化を図る目的で実施しました。

問　支援しているイベントと呼んでみたいイベントについて伺う。

市長　支援している主なイベントは、「八街ふれあい夏まつり」「八街市産業まつり」「八街大祭」、福祉関係、スポーツ大会を含め、今後も支援したいと考えています。全国規模のイベントの誘致は、今すぐの開催は難しいと考えていますが、八街駅北口公共核施設用地での「市（いち）」の開催の準備を進めています。

※その他の質問

◆美しい街づくりについて

個人質問

市民とともにつくる街づくり

誠和会　小山栄治

明るい街づくり推進課の設置を

問　街づくりを進める上で、NPO法人など団体の連携は欠かせない。また、八街市を積極的にPRするフィルムコミッション事業も必要。「明るい街づくり推進課」を設置し、市全体で街づくりを推進するべきと考えるが、市の考えは。

市長　社会情勢や市民意識が大きく変化している中、市の行政組織機構も、それに呼応した体制を整備していく必要があると認識している。市民協働や街づくり、町おこし、さらには地方分権下における政策立案や、行政マネジメントなど、新しく取り組む分野が出現しており、一部に不都合な状況が出てきてます。本市の実態に適合する形での見直しが必要な時期になっていると考えてます。「明るい街づくり推進課」「街づくり推進班」「青少年健全育成班」ということについても検討していきたいと考えています。

再質問　NPO法人などの団体を担当する課が無い中、横のつながりをつくる協議会が必要と考える。担当する課を作っては。

総務部長　NPO法人をはじめとするボランティア関連の担当部署が明確になっていない状況です。市民協働といった観念がクローズアップされている中、これに関連した街づくりの推進、企画、政策、立案部門の充実が求められていると理解してます。NPO関連も含め、職員定数を抑制している中で、所掌すべき事務の内容、人事配置の整理等は、大きな検討課題になると考えます。しかし新たな行政課題が起こっている中、それに対応できる組織づくりも、その実現に向けて検討し、進めていきたいと考えています。

▲八街中学校野球部

学校部活動について

問　教員の人数減、高齢化、授業の時間増などで忙しく、休日出勤の多い部活動の顧問は、負担が重すぎ、少子化と顧問のなり手不足の中、本市の部活動の現状は。また、地元のスポーツ指導者や教員OBの専門家の力をかり、地域ぐるみで支えられないか伺う。

教育長　現状では、各校とも、1つの部活動に複数顧問を配置し、専門性を求められる部活動は、地域の方などに指導援助していただく対策を講じて対応しています。校外の人材に協力を頂き、今後もさらに地域の連帯、協力が図られるように、各校に働きかけていきたいと考えています。

個人質問

財政の健全性をいかに維持するのか

誠和会　小菅耕二

財政問題について

問　一般会計の歳出入の近年の推移は。また、経常収支比率と市債の状況は。

市長　平成23年度決算において歳入合計約193億円、歳出合計約186億2千万円、歳入歳出残高が約6億8千万円となり、そのうち翌年度への繰り入れ財源を除く実質収支額約6億3千万円のうち、財政調整基金への繰入額は5億円であり、経常収支比率は94.5%、年度末の市債残高は約195億6千万円となります。経常収支比率の推移は、平成18年度以降6年連続の90%台で、地方債現在高の推移では、平成19年度以降、5年連続して市債発行額が元金償還額を下回っていますので、漸減傾向にあります。

問　プライマリーバランスの黒字を維持した上での市債活用をどのように考えているか。

市長　本市のプライマリーバランスは、歳入から市債発行額を引いたものと、歳出から公債費を引いたものの差は、黒字となっており、市債残高が過大に増えることがない健全な状態であると言えますが、本市の脆弱な財政基盤を補う一手法としての市債にかかる「借り入れと償還」のバランスを考慮しながら活用を図りたい。

問　未収金対策の取り組みは。

市長　未収金対策、すなわち、納期限までに納付されずに滞納となっている税の徴収対策は、出納閉鎖前の全庁的な職員の応援による集中滞納整理、千葉県滞納整理推進機構との共同滞納整理、捜索、インターネット公売の実施、さらには、法に基づく督促、催告に応じない、納付するに十分な所得がある滞納者にあっては、財産調査を実施し、不動産、動産、預貯金、生命保険等を差し押さえるなどの徴収強化を図っています。

問　本市へ「ふるさと納税」をしていただけるよう積極的な取り組みを望むがどうか。

市長　現在のところ、市ホームページでの「ふるさと納税」へのお願いを掲載し、市内外の移住者の方々に情報発信を積極的に進めており、今後も市内外の多くの方々に八街市を応援していただけるように、寄付という性質を踏まえたうえで、いろいろな手法を研究していきたい。

明るく進める商店街振興について

問　商店街来訪者の安心・安全や商店街のイメージアップやPRを図るための街路灯などの共同施設整備促進にどう取り組んできたのか。

市長　商店街が管理する街路灯の電気料を一部助成しています。

個人質問

活力ある農業振興と環境の整う街づくり

誠和会　鈴木広美

農業後継者の育成支援

問　市内の農家世帯数の現状は。

市長　市内の農家世帯数は、農業者の高齢化や後継者不足等により年々減少傾向にあり、平成17年に1千577世帯あったものが、平成22年は1千472世帯となっています。

問　後継者の共同による二世帯農家世帯数は。

市長　本年8月にいんば農協グリーン八街園芸部の組合員にアンケート調査をし、組合員588名中、480名から回答をいただいています。約30%の方には後継者がいる、今後就農予定があるとの結果になっており、農業を支える若い力が100名以上確保できている状況です。

問　後継者に対する育成・支援の具体策は。

市長　後継者に対する育成・支援の重要性は十分認識しています。

農業体験を通じ、出会いや交流の場を設け、農業への理解を深めるための活動を行っている団体や、新規就農者の定着活性化を図るため先輩農業者が経験を語り、相互の交流を深め歓迎する場を設けるなどの活動を行っている団体に対し、支援をしているところです。

今後も、関係機関と連携を図り、後継者の確保に向けた育成・支援を継続したいと考えています。

園芸用廃プラスチック

問　園芸用廃プラスチック処理工場の再稼働の現状と今後は。

市長　8月23日から10月16日の間に、16回、約165トンの回収を行い、放射線量が条件に合致しないものが8件あり、回収の段階で再洗浄するなどのお願いをし、持ち帰りをしていただきました。来年2月、後期分の一斉回収を行う予定ですが、リサイクルセンターが再稼働を停止しないよう、農業者の皆様には、洗浄などにご協力をお願いしたいと考えています。

空き地問題

問　本市における空き地の状況は。

市長　平成23年度空き地の管理に関しての通報は216件で、平成24年度は11月末現在で202件です。通報のあった箇所は、現地調査し土地所有者に対し、現況の写真と雑草等の除去についてお願い文書を送付しています。また、本人が遠方であったり、高齢のため直接管理ができない場合には、雑草刈り取り業者の紹介も含めて行っています。

問　空き地管理の適正化に関する条例の改正についての考えは。

市長　条例の改正は、条文の内容が明確でないものについて、今後改正について検討したいと考えています。

個人質問

榎戸駅整備と交通の利便性 焼却炉延命のためのごみの減量について

公明党　鯨井眞佐子

榎戸駅について

問　本設計は、いつ頃出来るのか。また、現在の狭いロータリーの解消、駅横の踏み切りの歩道設置、下りホームに上屋設置については如何か。

市長　平成25年6月末までに基本設計を終え、その後に詳細設計を行い、平成26年度中には工事着手を考えています。

自由通路、橋上駅舎の協議を進めていることから、上屋は設置されることとなり、利便性の高い駅前にしたいと考えています。

▲JR榎戸駅

交通の利便性について

問　現行のふれあいバス路線の見直しは如何か。また、高齢者のための自由乗降コースを増やすことやデマンドタクシー導入に向けて、調査、研究、検討はされているのか。

市長　平成23年9月1日付けでダイヤ改正を行ったが、従前の運行形態に近づけるよう準備中です。自由乗降区間の設定については、具体的な要望があった場合、十分な安全性を前提に検討します。デマンドタクシーについては、厳しい財政状況を踏まえ協議を進めていきます。

環境問題について

問　焼却炉の維持修理費は、平成21年7千452万円、平成22年9千426万8千円、平成23年1億744万7千円と年々増加しています。焼却炉延命のため、ごみの減量化に今後どう取り組むのか。また、雑紙リサイクルの市民への周知と成果は如何か。

市長　東日本大震災以来課題となっている焼却飛灰の軽減のためにも紙類を資源化し、焼却量を減少させることは、大変効果があります。次期八街市一般廃棄物基本計画の見直しまでに詳細に検討し、具現化に努力したいと考えています。

医療費助成制度について

問　未熟児の自己負担200円の無料化について伺う。

市長　未熟児養育医療事務が県から市へ移譲されますが、母子保健法第20条に規定する病院等に入院することを必要とする未熟児養育医療の対象となる子どもについては、当市は、保護者の経済的支援を目的とし、その対象となる医療費は、所得割課税世帯であっても負担基準額を無料とする方向で進めています。

◆市の花制定

個人質問

福祉総合窓口の設置と投票率向上策について

公明党　新宅雅子

総合窓口について

問　高齢者が来庁して相談する際に、主訴が不明確、問題が多重的、高齢者の理解力と行動力の低下の3点の問題点があると思いますので、これを整理し、寄り添いながら解決に導く福祉総合窓口が必要と考えるが如何か。

市民部長　現在、概ね了承を得た段階ではありますが、高齢者のくくりについては、介護保険課と仮称高齢者福祉課、障害福祉課とする方向で協議が整ったところです。地域包括支援センターを高齢者の相談窓口としての機能を持たせるので、来庁した人の問題がどこにあるのかを整理し、担当課につなぐことが出来ます。

問　福祉総合窓口というのは、問題が整理できたら、一カ所で全て解決出来ることが必要ではないかと思うが如何か。

市民部長　地域包括支援センターの総合相談では、相談者の状況に応じて、担当課から職員が来て対応することもあります。

主権者教育について

問　小中学校での教育の中に模擬選挙を取り入れたらどうか。

選挙管理委員会事務局長　市立中学校4校では、生徒会役員の改選時に実際の記載台、投票箱を使用していますが、小学校では行っていません。

問　小学校では、歴史上の人物の国づくりにかける思いを学びながら主権者教育が出来ないか。そうしながら、平成23年の市議会議員選挙の投票率47.04%を改善しなければいけないと思うが如何か。

選挙管理委員会事務局長　国の教育再生懇談会では、子ども達が社会で生きる力も主権者教育だと議論されています。教員の負担も大きいと考え、選挙管理委員や明るい選挙推進協議会委員が学校に出向いて機会を設けることも議論しています。

最近の八街市選挙の投票状況

	衆議院議員 H24.12.16	衆議院議員 H21.8.30	参議院議員 H22.7.11	市議会議員 H23.8.28	市長 H22.11.28
投票率（%）	50.96	59.70	49.13	47.04	38.44
当日有権者数（人）	60,261	60,337	60,381	59,823	59,841
投票者数（人）	30,711	36,020	29,661	28,139	23,004

個人質問

子どもの健全育成 放置自転車対策と自転車駐車場について

公明党　服部雅恵

子どもの健全育成について

問　家庭の経済事情で塾に行けない中学生に対する学習支援の取り組みについて伺う。

教育長　中学3年生の受験に向けた学習支援を長期休業や放課後の補習、また、学校だよりや校内掲示による学習のポイントや受験の傾向と対策の紹介をしています。

問　家庭学習をサポートする土曜塾等の学習会を開催できないか伺う。

教育長　地域で学校を支えるボランティア団体の「みらい塾」を順次立ち上げています。活動内容は、環境整備が主であり、学習支援は将来の発展的な理想像として視野に入れたいと考えています。

再質問　福祉と教育分野の連携について伺う。

教育次長　保護者、子ども達の中で障がいを持っている方がいる場合には、担当課と連携を図りながらケース会議を開いて、支援について検討しています。

放置自転車対策と自転車駐車場について

問　自転車駐車場の利用状況と、八街駅北口無料自転車駐車場の設置について伺う。

市長　八街駅には、5カ所の市営駐車場があります。駅南側の第1と北側の第5は、利用登録の必要な有料駐車場であり、登録率は68％です。全体で3千400台の利用可能台数に対し、利用率は60％であることから、北側に新たに無料駐車場を設置することは現在考えていません。

問　放置自転車の実態について伺う。

市長　八街駅、及び榎戸駅周辺には、良好な都市環境の確保と交通の円滑化を図るために、自転車等整理区域を指定しており、この区域内に放置された自転車等は、警告し保管場所に移動するとともに、告示しています。平成23年度は310台移動し、そのうち警察に引き渡した台数は23台、所有者に返還した台数は45台でした。

問　撤去された自転車の活用について伺う。

建設部長　撤去された自転車等は、社会福祉協議会の高齢者の共同作業所で修理をして再利用しています。平成23年度は186台、本年度は11月末現在で113台を販売しています。

問　乗り捨て防止の取り組みについて伺う。

総務部長　放置自転車の大部分が所有者が分からないという部分から見ると盗難車が多いように思います。防犯キャンペーンの一環として自転車防犯診断を行い、盗難防止を図っているところです。

個人質問

電気料金削減、産業の振興、防災対策について

公明党　川上雄次

電気料金について

問　庁舎内の照明や市内の防犯灯をリース契約でLEDに切り替えられないか伺う。

市長　現在の証明機器の照度と同等のLED照明のリース方式で実施する場合、電気料金の削減額の範囲内で、どこまで交換可能であるかなどを早急に検討します。

問　PPS（特定規模電気事業者）の活用で大幅な電気料金の削減を実現すべきと思うが如何か。

市長　今後の導入にあたり、特定規模電気事業者の電力供給状況、一括発注、または分割発注といった発注方法、及び契約内容の検討を進めたいと思います。

産業の振興について

問　日本一の落花生をPRするため、ピーナッツ課長を任命し、特徴ある情報発信が出来ないか伺う。

市長　八街落花生のブランドを堅持するため、今年度は市内外を含め18のイベントへ参加し、様々な方々にPRを行ってきました。ピーナッツ課長の任命に関しては、その必要性を含め、検討したいと思います。

防災対策について

問　地域のコミュニティセンター等の災害時の位置づけについて伺う。

市長　避難場所として指定されていない地区のコミュニティセンターは、緊急的、一時的な避難場所として活用することが有効な手段として考えられることから、今後活用方法について区と情報交換などをしていく中で、協議検討したいと考えています。

問　高等学校の避難場所整備について伺う。

市長　本市でも先般、高等学校と避難場所施設利用に関する協定を締結したところです。今後は、県立高等学校についても検討したいと考えています。

高齢者の運転免許証返納制度について

問　免許を自主返納する高齢者に住基カードを無料で発行出来ないか伺う。

市長　運転免許証を自主返納された方に対しては、本人の申請により、本人確認書類として運転経歴証明書が交付されています。平成24年4月1日からは申請期間が返納後1カ月以内から5年以内へと延長されるとともに、氏名、住所の変更や破損等による再交付が可能となり、利便性の向上と本人確認書類としての機能確保がされていることから、運転免許証を自主返納した高齢者に限定した住民基本台帳カードの無料交付は、今のところ考えていません。

個人質問

教育環境について

やちまた21　林　政男

通学路の整備状況

問　市内の通学道路の整備状況は。

教育長　危険箇所に「学童多し」等の立て看板を設置し、ドライバーへの注意喚起を促しています。また、市及びPTA等による路肩の草刈りや樹木の剪定を行い、児童の歩行箇所を確保しています。

警察の対策は、横断歩道が薄くなっている箇所を塗り直したり、八街東小学校前の市道一区39号線の速度規制を行うとのことです。今後も地域と連携した見守り活動等を中心に、児童・生徒の安全確保に努めます。

問　通学道路に予定されている信号機の整備状況は。

市長　市内の小中学校の通学路上で要望しているものが、26カ所で、うち主要地方道千葉・川上・八街線と市道114、115号線が交差する元スリーエフ吉倉店前交差点は、今年度から交差点改良のための測量設計に、県が着手すると聞いているので、今後、信号機設置に向けた協議が進められることになると思います。

問　国道126号から二州小学校までの県道の通学路の整備の進捗状況は。

市長　土木事務所によると、整備内容は全体計画延長550m、幅員3．5mの自転車歩行者道を両側設置するものです。平成24年度は、用地測量を実施し、現在は用地補償費を算出するための調査委託を進め、用地補償費の算出後、地権者との用地交渉を実施したいとのことでした。

中央公民館の整備

問　高齢者のために洋式トイレを設置出来ないか。また、音響装置の更新の内容は。

教育長　洋式トイレは、2基設置してありますが、さらに設置の必要性を認識しています。今後、財政状況を踏まえ、検討したいと考えています。また、音響装置の更新は、スピーカーの設置工事が終了し、使用を開始しています。マイク、アンテナ分配器等も、計画的に整備したいと考えています。

学力の向上について

問　小中学生の学力水準は全国・千葉県平均と比較してどうか。また、学力向上の取り組みは。

教育長　平成23年度の千葉県標準学力検査の結果からは、小学校で3年生以上が4教科、1、2年生が2教科で、県平均を100とした場合、八街市の小学校は約98、中学校は5教科で約87の割合となっております。

教員の授業力向上が必要です。児童・生徒が「わかった」「できた」と実感できる授業の展開を目指し、各校で自主的な授業改善に取り組んでいます。

個人質問

70歳から74歳の医療費は1割に

日本共産党　京増藤江

住民本位の新年度予算を

問　新年度予算に求められているのは、市民の暮らしを守る施策である。しかし、市は昨今の大雨に対応しきれない第三雨水幹線事業を進めているが、この事業を一旦凍結し、市民の暮らし優先の新年度予算を組むべきである。国政は、民、自、公3党が消費税を増税する一方、あらゆる社会保障制度の解体を目的とする社会保障改革推進法をつくった。これでは市民の暮らしを守れない。

「70歳から74歳までの高齢者医療費の自己負担の2割に引き上げ」について、日本医師会は「2割になると受診抑制、症状悪化の懸念がぬぐえない」と述べている。医療費窓口負担を2割にしないよう国に要求していただきたいが如何か。

市長　三井厚生労働大臣は、来年度から5年かけて2割に戻す旨の報道がありましたが、民主党内部からも慎重な議論が必要という意見があります。

問　医療費窓口負担が増えれば通院回数が減り、病気の悪化、医療費の高騰で国保財政の悪化につながるのではないか。

国保年金課長　国保の全国担当者が集まる全国大会で、「70歳から74歳の医療費は1割に」と、全市町村挙げて要望を出しました。

入園待機者をゼロに

問　0歳～2歳児の保育園入園待機者は11月現在100人にもなっている。待機者ゼロの対策を求めるが如何か。

市長　(仮称)八街かいたく保育園が25年4月に開設予定であり、待機児童解消の一翼を担うと期待しています。今後も保育園の待機児童解消に努めます。

子どもたちの居場所確保を

問　市の不登校の児童・生徒は、小学校では全国平均の3倍、中学校では4倍である。不登校の子どもたちの居場所を増設するなど抜本的対策を求めるがどうか。また、印旛郡市の中で児童館がないのは八街だけであり、設置計画を求めるが如何か。

市長　不登校の子どもたちの居場所として、教育支援センター「ナチュラル」と、各中学校に校内適応教室を確保し、全小学校区に児童クラブを設置しています。さらに、総合保健福祉センターとスポーツプラザ体育館の一室を、市役所の業務に支障のない範囲で開放しています。

問　東金市の「展望の広場」のように、スケボーなどを気軽にできる場所の設置を求めるが如何か。

市長　スポーツプラザをはじめ、各種グラウンドなどを利用できます。

個人質問

大関調整池周辺の冠水対策強化で快適な環境づくりを

日本共産党　丸山わき子

生活者優先の道路行政

問　本市の幅員5．5ｍ未満の市道は約85％を占めており、生活道路の速度・車両規制計画を求めるが如何か。

市長　地域からの要望に対して緊急性等を考慮し、優先順位を決め必要な道路整備等を実施し、公安委員会へ要望してまいりたい。

問　北総中央用水事業にともなう道路整備について伺う。

市は、西林地先への送水管の埋設工事にあたり「通称17町歩線は、国道409号のバイパス的役割を果たすために北総事業と一体で整備したい」と関係住民に説明。当時「市が道路整備をするなら」と送水管の埋設にも協力したという経緯がある。しかし、すでに10年以上が経過しているが未だ道路整備はされていない。市民との約束はどうなるのか、また、この事業では、笹引地先の歩道整備の約束があり、地元から早期実施の請願が出されたが取り組みは如何か。

市長　笹引地先については、歩道として整備できるよう検討しています。

経済環境部長　西林地先については、当初説明した平成11年と大きく内容が変わっており、今後の事業の進め方を決定し、近いうちに地元に説明したい。

大関調整池周辺の冠水対策について

問　市は大関調整池周辺での冠水問題を抱えているのにもかかわらず、不急の駅前区画整理事業や文違1号線改修のために大関調整池をつぶすなど最優先にすすめてきた。その結果、大雨のたびに冠水地域を拡大させている。快適な市民生活を送れるよう冠水解消計画を明らかにし早急な解決を求めるが如何か。

市長　5区・子豚市場方面からの排水路の途中に調整池として土地をお借りすることができた。大関調整池への流入量を減らし、冠水対策を図りたい。

問　大関調整池への雨水の流入を減らすために、上流への調整池の設置とともに、雨水桝の設置協力の要請とそのための補助を求めるが如何か。

市長　各家庭の雨水抑制対策として、広報紙・ホームページでPRしてまいりたい。雨水貯留槽設置に対する補助について今後検討したい。

介護保険・地域包括支援センター

問　高齢者・障害者がワンストップで相談できるよう、一本化させた窓口を地域包括支援センターに設置することはできないのか伺う。

市長　市民サービスの向上のため、平成25年4月から実施します。

個人質問

安心して住み続けられる八街市へ

日本共産党　右山正美

安心の国保行政について

問　国保税の徴収の在り方、税の引き下げについて伺う。長引く不況やリストラ、倒産などによる生活苦のもとで、国保加入世帯の平均所得は167万円。そういうところに「払わないのが悪いのだ」とばかりに徴収強化をしても、市民の担税力は限界です。しかも徴収は市民税・介護保険料・国保税と一括です。特に国保税はいのちと健康に直接結びつくもので一括徴収はなじみません。国保税の徴収の在り方について、また、貧困と格差が深まる中で、応能負担部分を見直し、国保税の引き下げを求めるが如何か。

市長　租税債権の一元管理が税目ごとの相談よりも適切な対応ができていると考えています。保険税の引き下げは、非常に難しいと考えます。

問　資格証明書発行の中止、限度額認定証について伺う。市は265世帯370人に資格証明書を発行しているが、本来、誰もが安心して医療を受けられる日本の国民皆保険制度のもとではあってはならない事態です。直ちに中止を求めるが如何か。また、市は分割納入を続けている市民にたいし、限度額認定証を発行していないが、制裁措置を続けるのか。

市長　国保制度維持のためにも資格証明書の交付は欠かせないと考えています。

限度額認定証については完納予定が明確な場合など特別な事情としてできるかどうか今後検討します。

問　国保に広域化で運営が成り立つのか伺う。

市長　新しい国保制度に地域保険として担うべき役割と市の責務が明確に位置付けられるよう努めてまいりたい。

地域経済の活性化について

問　食糧・環境・自然エネルギー活用で地域循環型経済のまちづくりを進めては如何か。

市長　本市で収穫した小麦粉で学校給食用パンの取り組み、新たなニンジンの消費拡大でニンジン料理コンテストの実施、八街産しょうがを使ったジンジャエールやちまたの開発・販売を進めています。また、太陽光発電システムを設置した方に補助金を交付しています。

問　住宅リフォーム助成制度では、市内業者の方からは仕事ができてよかった」と予想以上の声が出ています。経済効果も16倍にもなっています。経済活性化の中心として、今後の継続と拡充を求めますが如何か。

市長　12月議会で10件分の補正を計上、25年度も、引き続き補助を考えています。

成人おめでとうございます

（成人式　平成25年1月13日）

成人式を迎えられた皆さま、おめでとうございます。八街市の次の世代を担う皆さまが、心身ともに健やかに成長され、成人となられたことを心からお喜び申し上げます。本日のこの成人式を期に、権利と義務を自覚した立派な社会人として、精神的に大きく飛躍する重要な節目としていただきたいと思います。皆さまがこの21世紀を担う若人として、責任と誇りを持って、明るく健全な明日の社会を築く原動力となられるよう心から期待しております。（議長あいさつ）

議会改革進めています

平成24年6月に設置された議会改革検討協議会は、浦安市議会の視察を含めこれまで5回開催され、各会派等から寄せられた各種要望事項について協議しています。①議会運営（本議会・委員会）に関すること、②広報・広聴活動の充実に関すること、③議会の役割と権限に関すること、④議員の調査・政策立案・法制能力の向上に関すること、⑤本会議及び委員会の運営に関すること、⑥議員定数及び報酬の見直しに関すること等の協議を行っており、①議会運営（本議会・委員会）に関することについて3月中を目処に中間報告を行う予定です。

★議長・副議長の出席報告★

【11月】

- 2日・タイムカプセル開封式
- 4日・八街杯少年野球大会開会式
- 8日・北総地区市議会正副議長会事務局職員研修会
- 11日・市定例表彰式
- 13日～14日・印旛管内市議会正副議長連絡協議会視察研修（宇都宮市）
- 15日・八街市ＰＴＡ連絡協議会合同研修会
- 16日・後期高齢者医療広域連合議会定例会（千葉市）
- 18日・八街婦人祭
- 23日・富里市市制十周年記念式典（富里市）
- 24日・産業まつり・市民文化祭授賞式
- 25日・市老連チャリティー活き活き祭り
- 27日・市社会福祉大会

【12月】

- 1日・市野球連盟納会
- 2日・県スポーツ少年団柔道交流大会
- 8日・産業まつり農産物共進会表彰式
- 9日・市少年野球教室開会式
- 16日・ペットボトルライトアップツリー点灯式
- 16日・ユニークダンスのつどい
- 20日・意見書提出「八街バイパス整備等」（佐倉市）
- 22日・市文化協会講演会
- 26日・消防組合議会定例会（佐倉市）

【1月】

- 4日・新年賀詞交歓会
- 5日・市連合婦人会「新年の集い」
- 7日・新しい時代を開く千葉県民の集い（千葉市）
- 10日・消防出初式
- 11日・商工会議所「新年賀詞交歓会」
- 13日・成人式
- 20日・ピーナッツ駅伝大会
- ・千葉県体育協会表彰受賞祝賀会
- 22日・千葉県市議会議長会役員会（千葉市）
- 23日・北総地区市議会正副議長会事務局長会議
- ・大網白里市市制施行記念式典（大網白里市）
- 24日・印旛管内正副議長会定例会（白井市）
- 25日・八街っ子夢議会
- 27日・子ども会新春書き初め展表彰式
- 29日・千葉県市議会議長会研修会（千葉市）
- 31日・後期高齢者医療広域連合議会全員協議会（千葉市）

12月定例会議案等結果一覧

○賛成　×反対

議案番号	件名	議決年月日	結果	各会派の賛否					
				誠和	公明	21	共産	古	桜
継続審査 議案第9号	平成２３年度八街市一般会計歳入歳出決算の認定について	平成24年11月30日	認定	○	○	○	×	○	○
継続審査 議案第10号	平成２３年度八街市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	平成24年11月30日	認定	○	○	○	×	○	○
継続審査 議案第11号	平成２３年度八街市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	平成24年11月30日	認定	○	○	○	×	○	○
継続審査 議案第12号	平成２３年度八街市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	平成24年11月30日	認定	○	○	○	×	○	○
継続審査 議案第13号	平成２３年度八街市学校給食センター事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成24年11月30日	認定	○	○	○	×	○	○
継続審査 議案第14号	平成２３年度八街市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	平成24年11月30日	認定	○	○	○	×	○	○
継続審査 議案第15号	平成２３年度八街市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	平成24年11月30日	認定	○	○	○	○	○	○
議案第１号	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度八街市一般会計補正予算)	平成24年11月30日	承認	○	○	○	○	○	○
議案第２号	専決処分の承認を求めることについて(平成24年度八街市一般会計補正予算)	平成24年11月30日	承認	○	○	○	○	○	○
議案第３号	八街市税条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第４号	八街市行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	×	○	×
議案第５号	八街市防犯カメラの設置及び運用に関する条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第６号	八街市市道の構造の技術的基準を定める条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第７号	八街市市道に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第８号	八街市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第９号	八街市都市公園における移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１０号	八街市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１１号	市道路線の認定について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１２号	八街市の花の指定について	平成24年11月30日	承認	○	○	○	○	○	○
議案第１３号	平成２４年度八街市一般会計補正予算について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	×	○	○
議案第１４号	平成２４年度八街市国民健康保険特別会計補正予算について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１５号	平成２４年度八街市介護保険特別会計補正予算について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１６号	平成２４年度八街市学校給食センター事業特別会計補正予算について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１７号	平成２４年度八街市下水道事業特別会計補正予算について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１８号	平成２４年度八街市水道事業会計補正予算について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第１９号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	平成24年11月30日	原案可決	○	○	○	○	○	○
議案第２０号	平成２４年度八街市一般会計補正予算について	平成24年12月21日	原案可決	○	○	○	○	○	○
請願 第２４－２号	学校図書館の充実を求める請願	平成24年12月21日	不採択	×	×	×	○	○	○
請願 第２４－３号	消費税の増税中止を政府に求める請願	平成24年12月21日	不採択	×	×	×	○	×	○
発議案第５号	八街市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	平成24年12月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○
発議案第６号	八街市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	平成24年12月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○
発議案第７号	八街バイパスの早期完成と住野十字路交差点の整備に関する意見書の提出について	平成24年12月11日	原案可決	○	○	○	○	○	○

誠和（誠和会）……湯淺　祐德、中田　眞司、小髙　良則、山口　孝弘、林　修三、石井　孝昭、木村　利晴、小山　栄治、小菅　耕二、鈴木　広美、長谷川健介
公明（公明党）……新宅　雅子、鯨井眞佐子、川上　雄次、服部　雅恵
２１（やちまた21）……加藤　弘、林　政男
共産（日本共産党）……丸山わき子、右山　正美、京増　藤江
古……古場　正春　　桜……桜田　秀雄

編集後記

希望あふれる新たな平成25年の初発に、市議会だより№191号をお届けいたします。
本号は昨年の12月議会の一般質問や委員会等における市議会活動について編集してありますが、紙面都合上、主たる内容についてまとめさせて頂きました。

効果的な予算の使途や「住みよいやちまたのまちづくりについて」等、いかにすべきか議会としても真剣に取り組んでいることが皆さんに少しでも伝わるようにと構成しました。

みんなでつくる「活力あふれるやちまた」の橋渡しとなる議会だよりです。

読んで頂く皆さまに、少しでも理解してもらえる紙面づくりに本年も努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

（林　修三）

●議会だより編集委員会●　委員長／加藤　弘　副委員長／川上雄次　委員／京増藤江・古場正春・山口孝弘・林　修三・石井孝昭・小山栄治

※本紙にご意見等ございましたら「議会だより編集委員会」までお寄せ下さい。　TEL043(443)1482